

熊本地震御船町震災復旧活動 九州支店熊本営業所

2016年4月に益城町を震源として発生した最大震度7の大きな地震により、震源地から近い熊本営業所周辺の道路や家屋が大きな被害を受けました。御船町との防災協定に基づく要請により緊急出動し、被災箇所に応じた人員体制で近隣エリアの道路段差修正や雑石・雑木の除去などを行いました。

また、九州支店や当社の職員、その家族からブルーシートや土嚢袋、食料品や生活用品などさまざまな救援物資が各営業所との連携によって届けられました。これらの救

援物資は地域住民及び御船町や得意先へ配布され、この情報が SNSで広まり、地域の方から当営業所へ訪ねて来られました。これらの震災復旧活動が近隣住民から評価され2018年4月に御船町藤木町長より感謝状をいただきました。



地震により取付部の舗装が約80cm沈下した八竜橋

COMMENT



御船町
建設課土木係
係長 木山 丈也 様

地震直後、学校や公民館などの避難場所への導線確保のため、路面や橋梁の段差や亀裂を応急処置することが不可欠でした。御社は非常時にも関わらず、機動力を持って早期対応していただき、感謝しています。



※当活動は社内の CSR表彰 (2017年) に選定されました。



藤木正幸御船町町長と熊本営業所大西所長

世界遺産「熊野古道」の保全活動 一道普請 - (みちぶしん)

当社グループでは、2018年度新たなCSR活動の取り組みとして和歌山県にある世界遺産「熊野古道」を大切に保全し、次代に引き継いでいくため、参詣道の維持、修復の保全活動「道普請」に参加します。現地では、整備用の土を土嚢袋に入れて傷んだ箇所まで運び、敷き均し、転圧まで全ての作業を人力で行います。本活動は11月末に実施の予定です。



浸食によって痛んだ古道を補修



「タコ」による土の転圧



活動予告